

本検討会における検討項目

1 現行の加工食品の原料原産地表示制度や取組の検証

- 現行の様々な取組方策(表示の義務付け、事業者団体による自主的な情報提供など)や、これまで開催された検討会における論点・課題について検証する。
- 原料原産地に関する情報の必要性や具体的な提供方法について、消費者、事業者等の意見や要望を整理する。
- 事業者の実行可能性について考察する。
- 以上を踏まえ、今後の原料原産地表示の在り方について議論する。

2 加工食品の原料原産地表示の拡大に向けた具体的な方策

- 1における議論の結果を踏まえた上で、食品表示法の目的に鑑み、消費者が適切に食品を選択するための機会の確保や、消費者の需要に即した食品の生産の振興に資するよう、実行可能性を確保しつつ原料原産地表示の拡大方策について検討する。

3 その他